

第2回定例会が、6月24日に閉会しました。少子化・高齢化対策に布石を打ち、こどもまんなか社会の実現にむけた政策について質疑しました(内面参照)

幸町小学校は1971(昭和46)年の創立で、児童数の減少などにより2027年4月に幸町南小学校と統合する予定です。27～30年度は幸町南小学校の校舎を活用し、31年度には幸町小学校の新校舎を活用する方針。幸町小の校舎は本年度に基本設計を委託し、2026年度で実施設計、27年度に既存校舎などの解体工事、28年度から建築工事、31年度に全施設の供用開始を目指します。

校舎改築規模は3～4階建て、延べ約6860平方メートルを想定。校舎建設に当たって児童館(延べ476平方メートル)を併設し、屋内運動場等も改築する計画です。

これまで、卒業式・入学式、また学区民運動会や夏祭り等でお世話になった両校。円滑な統合にむけて今後も尽力してまいります。

子どもまんなか社会の実現へ



妊娠前のケア、新生児・児童支援など、子ども中心のサポートについて議論。

令和7年度 第2回定例会 一般質問 6月18日

プレコンセプションケアの普及啓発について

(中面に資料有り)

【質問】

「プレコンセプションケア」とは妊娠前のケアのこととで、「妊娠前からの健康管理」のこと。国立成育医療研究センターの荒田診療部長は「日本は妊産婦や新生児の死亡率が諸外国と比べ低いが、晩婚化や肥満・やせの増加、子宮頸がんの検診率の低迷など課題が多い。同ケアを母子保健だけでなく、教育や医療等幅広い分野で進めることが重要である」と指摘している。

市として、若い世代の男女に対し健康な生活習慣の維持、妊娠・出産に関する正しい知識や情報の普及を行うなど、プレコンセプションケアを普及啓発すべきと思うがどうか。

【答弁】

本市では、小・中・高校の希望する学校・学年において、助産師が講師を務め、性と健康、命に関する知識を学ぶ「思春期保健健康教育」を実施するとともに、大学等とも連携し、若者の視点を生かした啓発物の作成などに取り組んでいる。さらなる啓発に努める。

【質問】

愛媛県松山市では将来の健康と妊娠・出産のために健康状態を調べる「プレコンチェック」に対し、上限3万円とする検査費用助成事業を開始している。本市も更なる普及啓発が必要と考えるがどうか。

【答弁】

本市ホームページでは、プレコンセプションケアに関するページを設けている。今後さらにチェックシートを含め、新たな情報の掲載を進め、充実を図っていく。

中面へつづく

引き続き、当事者である若者の意見も伺いながら、効果的な情報発信や、性や健康に関する正しい知識の普及啓発など、プレコンセプションケアのすそ野を広げる取組を推進していく。

先天性代謝異常等に係る 拡大新生児マススクリーニング 検査の拡充について

【質問】

「新生児マススクリーニング検査」は、すでに全国で行われており、生後まもない赤ちゃんの血液を調べることで、先天性の代謝異常などを早期に発見することができる検査方法。

現在検査する20疾患は公費負担で、受診率はほぼ100%。加えて「拡大新生児マススクリーニング」は、検査内容を追加し自治体等が任意・有料で実施しており、受検率は約60～80%となっている。

本市としても、拡大検査は現在4疾患を対象としておりそのうち2疾患は自己負担となっている。

他県では拡大検査の対象疾患も含め、新生児マススクリーニング検査の無償化を開始した所もある。

本市としても無償化を進めるべきと思うがどうか。

【答弁】

国や他都市の動向等を注視するとともに、実証事業を通して得られた医療的な効果等について、県や医療関係者とともに分析を行い、費用負担も含め、今後の事業のあり方について検討する。

小学生の朝の居場所について

【質問】

仕事と子育ての両立が難しくなる問題の一つに、いわゆる「朝の小1の壁」がある。保育園などでは延長保育や土曜日の預かりなど、子育て世帯に寄り添った制度が充実している。

本市は、学校の始業時間までの間、子どもたちの居場所を提供するモデル事業を今年度中に4校で実施するとしているが、調整状況、また全校配置はいつ頃になるのか。

【答弁】

各学校の児童の登校状況等の調査結果を踏まえ、早い時間帯に登校している児童が多い学校を中心に

に、教育局とともに調整を進めており、7月上旬から、まずは袋原小学校で開始する。

実施にあたっては、業務をシルバー人材センターに委託する予定。令和8年度以降の事業展開については、今年度の事業を通し、子どもや保護者、学校や地域の方々のご意見も伺い、課題や効果を検証しながら検討していく。

児童手当の制度拡充・特例的な 救済措置について

【質問】

昨年度から拡充対象者に対する通知や申請の呼びかけ、未申請者への再通知といった対応を行っているが、ある保護者から「一度も通知が届いていない」という申し出があり、市に確認したところ「通知自体が発送されなかった」ことが明らかとなった。

このケースでは、保護者が市内に住民票があるものの、子どもが県外の学校の寮にいたため、住民基本台帳になく、通知対象から外されていたとのことだった。現状では一度も通知が送られないまま申請期限である3月末までに申請ができなかったため、児童手当を受けることはできず、さかのぼっての支給も受けられないとのこと。しかし制度上、児童手当は本市に居住する保護者に対し支給されるものであり、本市が責任を持って対象者を把握し、保護者に対し通知すべきだったのではないかと。

さらに、かつて所得制限で対象外だったが、今回の拡充で対象となったご家庭にも通知されていない例があると聞く。現状はどうか。

【答弁】

制度拡充にあたっては、国の通知に基づき、高校生年代の生徒のみを養育する方など、新たに対象となる方に対し、公簿等に基づき申請を勧奨したが、生徒のみが市外に住民登録をしている場合は、養育の確認が行えず、対象者が特定できなかったことから直接の勧奨は行っていない。

なお、対象となる方へ広く周知するため、国からは高等学校を通じリーフレットを配布したほか、本市では市政だよりやホームページなどを活用し周知に努めたが、今回のこのような事案が生じたことについては課題と受け止め、国に事案の共有を図るとともに、対応について相談する。

【質問】

こうした事例が明らかになった以上、たとえ期限が過ぎていても市長の判断で特例的な救済措置を講じるべきと思うがどうか。

【答弁】

今般の制度拡充に伴い、さかのぼっての支給については、児童手当法の経過措置により、令和7年3月31日まで受付ていた。

また、法においては「災害その他やむを得ない理由」により請求ができなかった場合に、一定の期間さかのぼって支給することが可能となっている。今回のような事案について、遡及して支給することができるか国に確認をする。

また、今回、本市から直接の申請勧奨を行うことができなかった、市外に住民登録をしている高校生年代や中学生以下の児童生徒を養育する保護者については、本市が備える住民基本台帳や児童手当システムなどの公簿では、対象者を特定するための情報としては不足しており、再調査を行うことは難しいものと考えている。なお、受給できる可能性のある方々への周知についてどのようなことができるかを検討する。

【質問】

本市として、今後同様の混乱を招かぬよう、国に対して運用の明確化や再発防止策を申し入れるべき。

【答弁】

児童手当は国の制度なので、全国の自治体で統一

的かつ円滑な運用が図られることが望ましい。

遡及期間の確認については、まさしく国の特例的措置なので、期間延長について可能かどうか確認する。

インクルーシブ教育環境のさらなる充実について

【質問】

障がいを持つ子ども達の保護者の中には、小学校入学前から学校生活に不安を抱え、就学に関し心配される声をうかがっている。保護者の意向が十分尊重された支援を充実していただきたい。

現在の通級指導教室の現状と課題はどうか。また市としての今後のインクルーシブ教育への方向性はどうか。

【答弁】

通級指導教室は、通常学級に在籍する児童生徒に対し、一部の授業について障害に応じた指導を行う教室。言語障害、難聴、発達障害等を対象とした教室を設置しており、令和7年5月1日現在、指導を受けている児童生徒は小中学校合わせて820名となっている。

このうち、発達障害等の児童生徒は633名。平成26年度から令和6年度までの10年間で、小学生の数が約10倍、中学生で約15倍に増えている。

これに伴い、対象教室の設置拡充や担当教員の増員を図っている。

今から始めよう!

プレコンセプションケア

プレコンセプションケアとは、毎日を健康的に過ごし、ライフイベントに直面した際にさまざまな選択肢を増やすためのヘルスケアです。5年後、10年後、自分の希望するライフプランを叶えるために、若いうちから知っておいてほしいことがあります

9つの プレコン チェック



- 1 栄養 足りてる?**
エネルギー摂取量と栄養バランスに気をつけよう。
- 2 運動 してる?**
150分/週、運動をしよう。
- 3 適正体重 知ってる?**
BMI(kg/m²)
18以上25以下になるようにしよう。
BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) × 身長(m)
- 4 睡眠 とれてる?**
十分な睡眠時間と休息を確保しよう。
- 5 アルコール・喫煙 増えてない?**
過度の飲酒、たばこは控えよう。
- 6 ストレス ためてない?**
心のゆかさを大切にしよう。
- 7 健康診断・予防接種 うけてる?**
健診を受けよう。予防接種を打とう。
- 8 歯 のケアしてる?**
歯周病ケアをしよう。
- 9 ライフプラン を考えてみよう**
性と生殖の正しい知識を身につけて、どう生きたいかを考えてみよう。

「仙台七夕まつり」の歴史について

仙台では「たなばたさん」と呼ばれ、例年7月7日の月遅れである8月7日を中日として、今年も暑い中8月6日から8日の3日間にわたって行われました。

「仙台七夕まつり」は、江戸時代から続く伝統ある夏祭り。仙台藩祖・伊達政宗公(1567年～1636年)の時代、冷害を避けるために行った豊作祈願に由来し、次第に民衆の間に広まったといわれています。

長い歴史の中では明治維新の変革、戦争による不況など数々の事情で衰退しかけたこともありましたが、昭和2年(1927年)に地元の商家の有志が景気回復を願って復活を果たします。

その後、第二次世界大戦で市内一帯が焼け野原と化してしまった際も、終戦直後の昭和21年(1946年)に52本の七夕飾りを立てて早々に再スタート。

市民の願いをのせて街を彩り続け、現在では東北三大祭りとして全国的に知られるまでに発展しています。



市民防災の日

仙台市総合防災訓練 防災関係機関等連携実施訓練に参加。47年前に宮城県沖地震が発生した6月12日。当時、中学生でしたが今でも鮮明に覚えております。



夏祭り

地元含め地域の夏祭りに足を運ばせて頂きました。暑い中、準備等ご尽力頂きました皆様、有難うございます。

新生児マススクリーニング検査 に関する実証事業のご案内

宮城県と仙台市は、国(こども家庭庁)が実施する「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」の実施主体の一つとして採択されました

対象は？

令和6年10月1日以降に
生まれた赤ちゃん

参加するとどうなるの？

拡大新生児スクリーニング検査の費用の一部が公費負担されます。

実証事業の対象検査

重症複合免疫不全症(SCID)
脊髄性筋萎縮症(SMA)



お問い合わせ先

- ◆仙台市外の医療機関で分娩・検査予定の方
宮城県子育て社会推進課 ☎022-211-2528
- ◆仙台市内の医療機関で分娩・検査予定の方
仙台市こども家庭保健課 ☎022-214-8189

発行元

仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ
仙台市宮城野区幸町3-3-1 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

プロフィール

仙台市議会議員 4期目。



Facebook

日々の活動は
フェイスブックを御覧ください。